

1. 個人住宅を対象とした防犯対策の助成制度を創設せよ

質問（白井） 防犯カメラの設置等、団体が対象の防犯対策の助成拡充に加え、凶悪化する侵入強盗等に備えるため、カメラ付インターホンなど個人住宅を対象とした防犯対策の助成制度を、国の総合経済対策の活用も視野に創設すべきでは。

答弁（区長） 他区の取り組みを調査・研究していきたい。



2. 区民の健康を守るがん検診を充実させよ

質問（白井ひでふみ）

答弁（区長）

1 国が推奨するがん検診のなかで、区は肺がん検診を実施していない稀（まれ）な自治体である。最重要課題のがん検診を実施しないことに正当な理由はない。肺がん検診を復活させ、区民の健康増進のための義務を果たすべきでは。

2 区民検診の胸部エックス線検査を二重読影とすることで、肺がん検診の実施体制が整うと考える。合理的かつ経済的な肺がん検診の在り方を検討すべきでは。

3 50歳から69歳までが対象の胃内視鏡検査を、70代まで拡充すべきでは。

1 関係機関との協議を進めたい。
2 読影の方法や実施体制等について、関係機関と協議する。
3 専門家の意見を聞き、協議していく。



3. ウェアラブル機器（スマートウォッチ等）を用いた見守り機能を

質問（白井） SWC（スマートウェルネスシティ）におけるウェアラブル機器の導入において、高齢者等の見守りの観点をコンセプトに取り入れ、日常の健康管理に加え、緊急時の見守りも可能とすべきではないか。

答弁（区長） 関係する研究機関と意見交換を進めていきたい。



4. 公益通報制度を改めよ

前回の質疑後、中野区職員よりとの匿名での公益通報のご相談のお手紙を頂きました。お手紙の返信として再質問です。

質問（白井） 公益通報者保護法は、匿名での通報を認めているが、区では身分確認を求め、確認できない通報は受理しないとの判断をしている。身分確認を求める匿名はもはや匿名ではなく、不受理の判断理由も含めて公表することが法の要求する義務であるとする。公益通報制度の勝手な解釈や運用、非公表は改めるべきでは。

答弁（区長） 他自治体を参考に検討していきたい。



ご相談やお困り事がございましたら、お気軽にご連絡を頂ければと存じます。

*また、ご送付先のお名前や住所の不備等ございましたら、ご連絡を頂ければ幸いです。



連絡先メールフォーム
<https://shirai.ne.jp/contact>



確かな政策 抜群の実現力

白井ひでふみ NEWS

中野区議会議員

2025 新春号



まだまだ肌寒さを感じる日々の中にも温かな春の兆しを感じるようになって参りました。花粉症持ちの私は目と鼻がその兆しをいち早く感じようです。

さて、新しい活動報告「白井ひでふみ NEWS」ができましたので、お届けをさせていただきます。内容は、凶悪侵入強盗対策としての個人住宅の防犯対策の助成制度創設や、コンビニに AED 設置、各種がん検診の充実、スマートウォッチなどウェアラブル機器を用いた高齢者の見守り、災害時に区外に区民の避難所開設「遠隔避難所」などをまとめさせて頂きました。お忙しいところ恐縮ですが、ご高覧を賜れば幸いです。

結びに、引き続きのご指導を賜りますよう、心よりお願いを申し上げご挨拶とさせていただきます。

中野区議会議員 白井ひでふみ

Shirai Hidefumi Profile

公明党 中野区議会議員 2007 年初当選（現在 5 期）

■ 党役職：公明党東中野支部長
■ 議会所属委員会：建設委員会、少子化対策・地域包括ケア調査特別委員会
■ 役職：中野区議会副議長、中野区監査委員、中野駅周辺地区等整備特別委員会委員長、こども文教委員会委員長、公明党議員団幹事長等歴任

■ 職歴：国会議員公設秘書を 10 年間務める

■ 資格：政策担当秘書、防災士

■ 学歴：関西創価高校、創価大学法学部卒

■ モットー：現場第一

■ 趣味：読書、サッカー、東京演劇集団 KAZE の大ファン

■ 1969 年 7 月 11 日生まれ、大阪府東大阪市出身、妻と二人暮らし



各種 SNS リンクです。議会での活動などを発信しておりますので、ご登録よろしくお願いします。



homepage

<https://www.shirai.ne.jp/>



LINE

ID : @ukq4275w



facebook

「白井ひでふみ」で検索



X (twitter)

「白井ひでふみ」で検索

白井ひでふみ 議会発言

令和6年定例会では、中野区の財政運営、災害時の遠隔避難所の検討、実現したコンビニAED、東中野駅のまちづくり、公益通報制度の整備などについて区政をたどしました。質疑の一部をご紹介します。

令和6年第1回定例会総括質疑

1. 財政運営の考え方の再検討と必要な事業の厳格な精査を

質問（白井ひでふみ）

- 1 学校等施設改築の基金積み立て予算は0円、区が決めた財政規律でさえ守れていない。そもそも多額の改築費用が必要な時には少額の基金、改築の必要のない時には多額の基金を要する財政運営の考え方を再検討すべきでは。
- 2 新規拡充事業を行う際は、厳格な精査を強く行う必要がある。既存事業のスクラップにより経費を生み出すとしているが、できていない。区の認識は。



答弁（区長）

- 1 区民生活に基軸を置いた区政の実現を目指し、現行の財政運営の考え方に沿って運営していく。指摘を踏まえ今後整理をしたい。
- 2 令和5年度と同規模の財政フレームで歳出削減に努めてきた。今後も予算編成方針の遵守（じゅんしゅ）を、検討や進捗（しんちょく）状況を踏まえ徹底させていきたい。



2. 災害時の遠隔避難所の開設を推進せよ

質問（白井ひでふみ）

- 1 中野区外の宿泊施設を借り上げる遠隔避難所の開設を提案・推進してきた。連携自治体の関係事業者との交渉や、移送計画等の更なる推進をすべきではないか。

答弁（区長）

- 1 他自治体への支援や、大規模災害の支援事例に基づき、協定締結自治体との支援策を相互に確認し、実施したい。



3. コンビニにAEDが実現

質問（白井ひでふみ）

- 1 24時間いつでもAEDが借りられることが最大のメリットである。事業の概要を問う。



答弁（区長）

- 1 設置場所の提供や、ステッカーの掲示、緊急時の貸し出し協力等である。現在、区内セブンイレブン全60店舗の8割程から同意を得ている。

4. 区のデジタル地域通貨事業

質問（白井ひでふみ）

- 1 都も実施するデジタル地域通貨事業が、税の二重投資とならぬよう、先行自治体と連携し、都に連動可能なシステム構築を求めるべきでは。

答弁（区長）

- 1 先行する他区と連携し、都へ要望を行いたい。



1. 子ども・子育て世帯の貧困対策を図れ

質問（白井ひでふみ）

- 1 学校給食のない長期休業日に、経済的に苦しいひとり親家庭などの十分な食事をとることが難しい、空腹を抱える子ども達へ食事や食材を届ける支援を実施すべきでは。



答弁（区長）

- 1 子ども食堂運営団体への支援や子ども配食事業等、これまでの区の取り組みの成果やニーズ、他自治体の事例等を把握し、必要な支援の構築を検討していく。



2. 害虫・害獣対策を問う

質問（白井ひでふみ）

- 1 区はまちづくりを推進しているが、解体施工者に害虫・害獣対策を義務付ける規定は中野区にはない。建物の解体による害虫や害獣被害が近隣地域や商店に及ぶことがないように、害虫・害獣対策の整備を求めてきたが、検討状況はどうか。

答弁（区長）

- 1 施工者に対策を求めるとともに、他区の事例等を踏まえ、可能な限り速やかに規定整備を行う予定である。



3. 東中野駅の東西一体的なまちづくりを図れ

質問（白井ひでふみ）

- 1 （仮称）周辺まちづくり基本方針案の策定に向け、東口周辺の再開発の規模や時期の検討について、開発事業者等と主体的な連携が必要ではないか。
- 2 西口の桜並木の地域を基本方針の検討範囲に加え、東口再整備の一環として対策すべきではないか。

答弁（区長）

- 1 民間事業者と連携を図りながら、東口のバリアフリー化実現に取り組んでいく。
- 2 西口のまちづくりについて、地域の声があれば伺いたいと考える。



4. 公益通報制度とハラスメント対策の見直しを

質問（白井ひでふみ）

- 1 ハラスメントの対象者は職員のみが規定され、区長への準用規定がない。行為者に区長を含むことを明文化し、公益通報とハラスメントについて議員も対象にすべきでは。
- 2 ハラスメントの外部相談窓口は区に報告する役割のみで解決手段になっていない。弁護士など外部の相談窓口を整えるべきと考えるがどうか。

答弁（区長）

- 1 行為者の記載内容を整理するなど検討していきたい。
- 2 他自治体の事例などを参考に研究していきたい。

